

## ①防鳥網「らくらく設置 3.5」の設置研修を行いました！

令和3年7月6日(火)に、津和野町にて防鳥網「らくらく設置 3.5」の設置研修を実施しました。「らくらく設置3.5」とは、高さ3.5m程度までの果樹等に、防鳥網を安価で手軽に掛け外しする方法です。簡素な構造で作業も簡単なので、果実等の実る時期が近づいたら網を掛け、収穫直前に外すなど、気軽に防鳥網を使うことができます。

研修は、当事務所の鳥獣担当の説明・指導のもと、農家の方と当事務所の農業部職員を対象に行いました。「らくらく設置 3.5」の方法を用いて、もうすぐ収穫期を迎えるスモモ畑に防鳥網を設置しました。実際に設置すると、地形や樹高などによって、スムーズな設置が困難な場面もありましたが、この技術を普及していく上での改善点や、現場に応じた臨機応変な対応などが見られ有意義な研修になりました。

本研修には他管内の鳥獣担当や津和野町・吉賀町職員も参加し、鳥害防除技術を学んだので、今後、関係機関と連携を図りながら、より鳥害を減らしていけるよう努めていきます。



作業風景



設置後のスモモ畑

## ②鹿足郡津和野町堤田集落において、サル対策研修会を開催しました！

令和3年7月11日(日)に、堤田公民館において「～ニホンザル、ツキノワグマの被害から地域を守るために～被害対策研修会」を開催し、当事務所の鳥獣担当が講師を務めました。当日は、20名の地域住民の方々に参加頂きました。研修会では、本地域で被害が目立つサルをメインに、基本的な生態や行動特性、対策技術について紹介しました。研修の最後には、質疑応答や意見交換が活発に行われました。また、研修後には実際に現地確認を行い、サル対策として気をつけなければならない点や、サル被害の確認などを行いました。

現在当事務所では、「鳥獣被害ゼロ」を目指して鳥獣被害に強い集落をつくることに意欲のある集落・組織を、林業部と農業部が連携して直接支援しています。今回の研修会を契機とし、被害対策マップを作成して地域にフィードバックを行ったり、防護柵の効果的な設置等を推進することによって、地域住民が協力して農作物被害を軽減していけるよう支援を実施していきます。



研修会の様子



サルの被害